

令和6年度 能代市バスケの街づくり市民チャレンジ事業 応募事業一覧

申込者	一般社団法人 能代青年会議所 まちのファン創出委員会	株式会社シャディハッピー 代表取締役 藤田 徹平	長嶺 薫
事業名	バスケの街のしる まるっとマルシェ	必勝不敗タオル作成	残業バスケ
事業内容	<p>・実施内容 「バスケの街のしる」の新たな人口創出のためには、能代に来てもらう、地域の人と触れ合ってもらうことが大切です。 能代の市民スポーツとしてバスケットボールを根付かせる意味で、多くの団体がバスケットボールの大会を開催していますが、競技以外の幅広い市民の参加や、関係人口創出を目的としたバスケのイベント開催は今まで少なかったのではないのでしょうか。 バスケに興味を持たない市民にとってもバスケを身近に感じてもらい、この事業で楽しさを味わいながらバスケのまちの存在意義を再認識し、新たな関係人口創出につなげる事業です。</p> <p>・開催時期 令和6年10月14日(月)</p> <p>・開催場所 湯らくの宿のしる」駐車場</p> <p>・対象者 能代山本地域住民及び地域外住民</p> <p>・目標集客数 500人</p>	<p>秋ぐらいを目途に能代工業バスケ部「必勝不敗」タオルを作成します。健康フリースロー大会をはじめ、各イベントの商品や協賛品として使用します。</p>	<p>・開催目的 「バスケの街能代」としてバスケットリズムなど、能代市外や秋田県外からの誘客に力を入れることは大切です。それと同時に能代市民の皆さんに「能代と言えばバスケット」をより一層浸透させることも大切です。この事業を通して市民の皆さんにバスケットをより身近に感じ、気軽に楽しめる環境を提供することでバスケットの楽しさを再確認できるようなイベントを企画します。</p> <p>・実施内容 平日の仕事終わりにそれぞれが働く時の格好のままバスケットの試合をするイベント。バスケットのユニフォームや運動着ではなく、スーツや作業服、白衣など各々の仕事着でバスケットを楽しむ。</p> <p>・開催日時 9月～10月頃 平日(夕方)</p> <p>・開催場所 アリナス</p> <p>・集客目標 90人</p> <p>・対象者 能代山本地域で働く社会人</p>
無償スタッフ活動時間	270時間	170時間	125時間
補助申込金額	200千円	200千円	150千円
審査会の主な意見、改善の提案等	<p>・大がかりなイベントになると思うので、入念な準備をお願いしたい</p> <p>・出展者が取扱うものがバスケ関連のものに限るなど、ひと工夫があれば、バスケの街のPRに繋がると思う</p> <p>・バスケの街づくりをPRするイベントなので、来客者にバスケの楽しさを持ち帰ってもらえるような取組の実施をしてほしい</p> <p>・具体的な内容が乏しいと感じた</p> <p>・目標集客数が500人とのことだが、低すぎではないかと感じた</p> <p>・多くの方が関わることでバスケの街づくりの取組が広がってくると良い</p>	<p>・実施の際は配布実績の共有をお願いしたい</p> <p>・製作して配布するだけでなく、積極的にPRできるような取組を検討してほしい</p> <p>・新規事業ではないが、バスケの街づくりに必要だと感じる</p> <p>・バスケの街への貢献度は感じられるが新たなチャレンジがあまり感じられない</p> <p>・今後は、販売に繋がられるような取組も検討してほしい</p>	<p>・市民は仕事終わりにバスケをやっていると広まれば、本市らしいイベントと認知される</p> <p>・能代の名物行事として定着することを期待している</p> <p>・参加賞の商品を、地元店活用や能代のPRに繋がるようにしてほしい</p> <p>・データ分析結果から説得力のある事業へのチャレンジが感じられた</p> <p>・今後、自己資金をもとに開催を考えているようだが、本人負担を極力減らす工夫をすることで継続できるような取組にしてほしい</p> <p>・バスケの街をPRするには、こういったイベントが面白いと思う</p> <p>・年1回6チームでの大会では広く市民に還元できるとは言い難い</p>